

ロイハ者目ニ謝ス。

尙當日ハ中藩自由黨職合ハ職人等選考委員ハ大半マ古キヲキム
後升業界マツリ平正部三十餘遺會々々。
夫トテ選考委員選額計一、普通員志強直、居行委員外委大連山古節丑

組合の左翼への統一である。我が中部地方評議會は黨評議會の解散以
來輝ける傳統的精華を抱伏論直會總評議會の一翼として大左翼陣營の
今や資本の攻勢は益々加重されて來た爲に不日ハ職人等選考委員の生活防
衛の闘争は漸の如く工場に卷起すてみる。失業者の異常な増大は日本
資本主義の根柢を揺動せしめて居る。又農村に於ける三千萬の農民大
衆は資本家地主の野獸的搾取に抗して斷然決死の闘争を敢行してゐ
る。斯くして激化した階級闘争の波は都市農村山間部落の勤勞者大衆
を喰やが應を其の渦中に捲き込んでゐる。斯した極度の鋭化した
客觀的情勢に直面した我が國プロレタリアの組織は極めて微弱で
ある。先づ労働組合戦線を見渡すならば五百萬の近代プロレタリアー
トの内組織されてゐるのは僅かに三十五萬に過ぎない。而も三十五萬
の過半は右翼の陣營に組織されて居る状態である。運動の目標は九〇
パーセント未組織労働者の獲得にある。他地方相當數存在する中間派